

科目名	臨床検査学概論 (Introduction to Laboratory Medicine)			科目コード	442
開講学科	臨床検査学科	選択区分	必修	単位数(時間)	1単位(15時間)
科目区分	専門科目	履修時期	1年次前期	関連DP	臨①②③
担当教員	祇園 由佳、荒川 裕也、濱 智子、細川 翔、矢野 弘子				
授業概要	臨床検査は、患者の病態や健康状態を把握するために必要な生体情報を提供する学問である。本講義では、臨床検査技師の業務と使命および他の医療職種との連携について、臨床検査技師としての実務経験に基づき概説する。(オムニバス方式)				
授業目標	臨床検査技師の業務と役割、社会的使命、歴史的背景、各分野の検査内容および他の医療職種との連携を関連づけて理解する。				

授業計画

回	項目	内容	担当教員
1～2	臨床検査とは	臨床検査技師の業務と役割、臨床検査技師誕生のあゆみ、臨床検査の意義、チーム医療、臨床検査の目的と結果の解釈	祇園由佳
3	臨床検査技師の業務 検体検査(1)	一般検査・生化学検査の目的と業務内容、他職種連携、検体の取扱いと保存の重要性について、実務経験に基づき概説する。	矢野弘子
4	臨床検査技師の業務 検体検査(2)	免疫血清検査・微生物検査の目的と業務内容、他職種連携、検体の取扱いと保存の重要性について、実務経験に基づき概説する。	荒川裕也
5	臨床検査技師の業務 検体検査(3)	血液検査・病理検査の目的と業務内容、他職種連携、検体の取扱いと保存の重要性について、実務経験に基づき概説する。	細川翔
6	臨床検査技師の業務 生理機能検査	生理機能検査の目的と業務内容、他職種連携、患者対応の重要性について、実務経験に基づき概説する。	濱智子
7～8	発展学習	「自分の目指す臨床検査技師像」をテーマとした発展学習。これまでの講義の中で興味を持った分野、様々な場面で活動する臨床検査技師について理解を深めるとともに、演習を通して意見交換を行う。	担当教員全員
成績評価方法		課題提出(70%)と授業への取り組み(30%)により評価する。	
教科書		必要に応じて、担当教員が適宜紹介する	
参考図書等			
授業時間外の学習について			
関連科目		共通科目：140 医療概論、144 人体の構造と機能Ⅰ、145 人体の構造と機能Ⅱ 発展科目：146 人体の構造と機能Ⅲ、401 分析化学、402 生化学	
備考		実 祇園、荒川、濱、細川、矢野：臨床検査技師(医療機関)	